

# 復興に駆ける！

第 31 号  
平成 26 年 6 月 25 日発行  
岩手県立  
生涯学習推進センター  
TEL 0198-27-4555

◇ 今回はこの方を紹介します。

## NPO法人@リアスNPOサポートセンター 鹿野 順一(かの じゅんいち) 代表理事



鹿野代表理事

鹿野代表は釜石生まれの釜石育ち、郷土銘菓「釜石よいさ」で知られる「玉泉堂」(ぎょくせんだう)の3代目である。

2003年4月から商店街を盛り上げていこうと、商店街振興組合員らと協力してイベントを開催する中で、もっと活動を拡大していこうと、翌年「NPO法人@リアスNPOサポートセンター」を設立した。まちづくりに関することや起業を目指す人たちの支援のほか、子どもたちを対象にした販売体験プログラム「キッズマート」の開

催、防災教育の実施等々、多岐に亘る活動を展開していた。

震災が起こった3月11日は、市内でコミュニティビジネスのセミナーを開催していた最中だった。経験したことのない強い揺れに、ただならぬ気配を感じ、参加者を安全な場所へ誘導してから店へと戻った。そして、家族や従業員に避難を呼びかけ逃げようとしたが、目の前に押し寄せた津波に為す術がなかった。

通信が可能となった3月20日からは、Twitterで釜石の被害状況を発信し、23日には空き倉庫を借りて活動を再開した。全国から事務所に訪れたNGOやNPOの方たちに、被害状況を説明し、被災者が必要とする物資支援を依頼した。数日経つと全国から続々と物資が届き始めた。物資が中々行き渡らないであろうと予想された市街地から離れた漁港周辺を中心に配って歩いた。

仮設住宅が整備され、物的支援が落ち着いたところで仮設住宅の訪問活動を始めた。この訪問活動は釜石市からの委託を受け、現在も引き続き行われている。この他に、地域住民が気軽に集える場「みんなの家」を運営し、そこで各種講習会やイベントなどを開催している。

鹿野代表は、「いわて連携復興センター」の代表理事も務めており、県内NPO等の支援、県内外での講演、宮城、福島の両連携復興センターとの定期的な会議の開催など、精力的に活動している。「被災した自分だからこそ、伝えられることがある」という鹿野代表の言葉に、強い信念を感じた。

(※5月21日、いわて連携復興センター北上サテライト  
オフィスにて三橋が取材)

### 連絡先

NPO法人@リアスNPOサポートセンター  
TEL 0193-22-2421  
Email : kano@rias-iwate.net